

【会議次第】

1. 山内町長挨拶

先週、三宅島の三宅高校に行って来た。島前校と同じく生徒数、教員数共に少なくなっている。3 学科あるために教職員数は多いが、施設など比較すると島前校は良い環境にあると感じた。帰りには東京に立ち寄り、全国の町村の方を集めた集会に参加してきたが、現在の島前校の取り組みに大変関心を持たれていた。これは今年度、1 年生 7 名の入学実績がでているからで、ひとえに校長先生はじめ学校の先生方、家督会、魅力化事務局、皆さんの支えあってと思っている。

2. 山根校長挨拶

- ・ 各町村の方々、魅力化の会の皆様には大変なご理解をいただき、良い教育活動をさせていただけることを感謝している。
- ・ 7 月からは学習センターが開設され 33 名の生徒が利用している。今年度の入学者には島外からの 7 名が入り、毎日元気に登校している。ただ学習面においてはもうひとふんばりしなくてはいけない状況。生活面についても規則正しい生活を指導中である。
- ・ 学園祭を開催した。生徒の発案で体育祭の組み分けが縦割りになり、勝ち負けにこだわらず、学年の垣根を越えて楽しくやっていた。
- ・ 知事にも来校していただき様々なお訓示をいただいた。
- ・ オープンスクールには 8 組全 21 名にご参加いただいた。現在の PR には光と影があるが、参加者の方には前向きなご理解をいただいた。参加生徒からは、「島前校は小規模だが、少人数ゆえの親身な指導があり自分を見つめ、夢を探して実現できそう」という意見をいただいた。さらに保護者からは、「都会の生活は恵まれてきている。是非親から離れて生活し、主体性と生きる力を身に付けて欲しい。また、何の為に勉強しているのか、自分を見つめて自分探しをして欲しい」と進んだ意見をいただいた。
- ・ 今年の反省も生かし来年度は、休まずに意欲を持って高校生活を送る生徒に入学してもらいたい。

3. 議事

○島前高校魅力化プロジェクト事務局長について(山内会長)

海士町内で 7 月に人事異動があり、吉元教育課長が財政課長となったが、引き続き魅力化プロジェクトの事務局長を兼任してもらうことになった。

○学校案内・島内外パンフレットについて(事務局)

新たに学校案内とその内容を抜粋したチラシを島内用と島外用 2 種類作成した。保護者さんの率直な意見を掲載するなどして現在の取り組みの成果が伝わるようにした。

○知事来校報告(事務局)

広聴会の議事を掲載しました。高校の存在意義について知事さんの語られた中から、魅力化プロジェクトにおいて重要だと思う部分に下線を引いた。※別冊参照

○島前高校魅力化 進捗状況・今後の予定(事務局) 抜粋、詳細は資料参照

・ PR について

全国で説明会を開催した。東京以外では中学生が集まらず、教育関係者が主であった。教育関係者の方々には島前高校の取り組みに興味を持っていただけたようだが、保護者生徒にはなかなか浸透していないことを痛感した。

今年度の成果が来年度以降 2 クラス化に向けての大切な時期である。チラシやパンフレットを有効に利用して、島前校の生徒にとって良い刺激となる生徒に島留学してもらいたい。その為に推薦入学の生徒に対して島留学の補助をつける方向で考えている。

島根県内の学校のクラス数が減っている中、島内の皆さんの協力をいただきながら、島前校は 2 クラスへと魅力化プロジェクトの成果として出していきたい。

- ・ 今年の夏は他校からの視察が大勢来られた。現在の高校や町の取り組みに興味を持たれた学校が本当にたくさんあることを知り、どこの地域も課題を掲げながら何とかしようという気運にあると感じた。ただ、取り組み

としては素晴らしいと言われるが、結果につながっていないのが現状である。しかし、これらの課題に真正面からぶつかって、何とか打破していこうという姿勢が、同じような状況の地域を元気付けているようである。島前高校が成果を出して、その動きが他の地域へとつながり、離島や過疎の地域でもこのような取り組みができるということが国の動きにつながっていけばよい。

質疑応答

- ・閉寮時の生徒の受け入れ(ホームステイ)は、島外から生徒を呼ぶのであれば重要な問題である。具体的にはどのように考えているか？
- 現在、ホームステイ受け入れの用紙のようなものを作っている。この方向(受け入れリストの作成)でよければ、その用紙に例えば「男女どちらなら良いか」「受け入れ可能な期間」「家族構成」など、受け入れる側・行く側にとって気になる情報を書いてもらい、必要な時にそのリストを見てお願いできるような形を取れるように考えている。

○先進校視察について(事務局)

高知県大方高校は、島前校よりもっと早い時期から高校と地域が連携した先進事例である。実際にその現場で生の声を聞き、我々の取り組みに生かしていきたい。

現在は未定の部分が多いが、このような内容でやりたいと思っている。参加者は魅力化推進協議会のメンバーで10~15名ほど、時期は11月を予定している。

○推進協議会(9/17)会議報告

別紙参照

質疑応答

- ・先進校視察は、魅力化推進協議会のメンバーだけでなく、本理事会の中からいけないか？助成金などの関係もあるので難しいかもしれないが。
- 検討する。日程等決めて案内する。

○補足(事務局)

港のモニターの利用など大変良い。島外から来られた方の見るポイント、宿やタクシーなども上手く使ってPRしていくことももっと考えていきたい。島外のみでなく島内の人にも取り組みについてご理解いただけるように、人の集まる病院などでもPRして内外に向けてやっていくのが良い。

今年度の成果が大変重要なポイントですので、島外に出られる際にはチラシ等渡すので是非PRしていただきたい。また公の場面だけでなく説明の機会がいただければ説明するのでよろしくお願ひしたい。

○意見交換

- ・外部講師が来られる夢探究に保護者や一般の方は参加できないか？
- まだ調整中だが、保護者など大人向けの時間がとれるように検討している。
- ・先日1年生が全国模試を受けた。教員の知りうる限りでは過去最低の成績であった。A・Bと進度別にクラス分けしているが、成果が上がらず、10月の模試に向けて対策を練らなければいけない。高校からだけでなく小中高との連携が学力向上には必要であると考え。取り組みとして夢探究など行っているが、現実として夢の実現には基礎的な力が必要なので、力を入れてやっていきたい。(山根校長)
 - ・「島前校になぜ行かないのか」の理由だが、今の模試の話はそれ以前の義務教育の問題である。義務教育は我々町村の行政の分野なので、それぞれがしっかりと取り組んでいきたい。(山内会長)

4. 扇谷副会長挨拶

本日の内容は事務局の報告が主となっていたので、今後は意見交換がもっと活発になるようにしてほしい。本日はありがとうございました。